



カルガモ



ハクセキレイ



カワウ



ヘイケボタル



ギンブナ



オイカワ



モツゴ



オオタカ

2023年3月発行

第12号

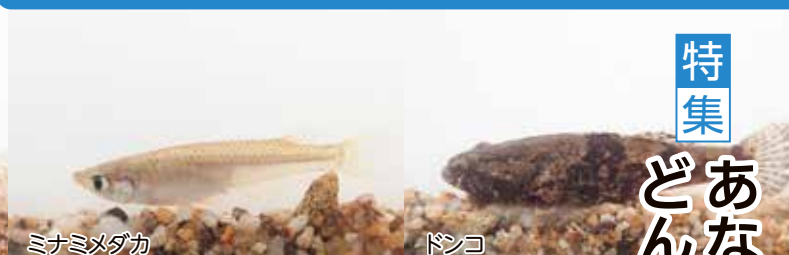
大和川 ジャーナル



カマツカ



ドジョウ



ミナミメダカ

ドンコ



シマヒレヨシノボリ



キジバト



カワセミ



セイタカヨシ



メジロ



アオサナエ



タモロコ



ゴキツル



ギギ



スジエビ



アオサギ



ヤナギタデ



アメリカザリガニ



イソシギ



タシギ



コガタシマトビケラ

特集

あなたは「大和川」が
どんな川が知っていますか？

なら橋プロジェクト推進協議会メンバー 久保田 有

大和川流域の河川で確認された生物(一部)

あなたは「大和川」が どんな川か知っていますか？

奈良盆地の中央部を流れる大和川。今回は、長年、県内のほとんどの川で生き物調査に関わってこられた久保田さんと、大和川の姿を様々な視点から見つめてみます。



久保田 有さん

1947年生まれ、愛媛県出身、天理市在住。学生時代から生物や地理に興味を持ち、身近な野山や川で自然保護のあり方を模索。高校などで理科教育を担当。(財)日本自然保護協会自然観察指導員などを経て、現在は、なら橋プロジェクト推進協議会メンバー。主に尼ヶ辻や山の辺で橋の栽培を担当。

奈良盆地の地形から見る大和川

「奈良盆地のでき方を知るには、若草山の頂上に立つとよくなる」と大学の先生から教えていただいたことがあります」と久保田さん。生き物以外にも、身近な地形や石ころまで、そして、生活されてきた人々の歴史など、好奇心旺盛な久保田さんは、「いろんな視点で自然を見つめると面白いことが見つかりますよ」と語ります。

奈良盆地の成り立ちについて、地学の専門家は「近畿トライアングル」という言葉で説明されます。近畿の中央部は、地殻変動によって三角形の区画に入り、その真ん中が奈良盆地に当たるそうです。奈良盆地を取り巻く「青垣の山並み」は、プレートとの動きによってできた地形といえます。その中で低く盆地になった場所を大和川が流れています。大和川は、大和高原にある貝ヶ平山(821.7m)を源流として、延長68kmの川で、奈良県の流域面積は712km²の一級河川です。奈良県の面積の約2割に当たり、その流域に県民の約9割が住んでいます。大和川は、奈良盆地を囲む山々から流れてくるたくさんさんの支流が河合町付近で合流して一つの川になります。これが河合町の名前の由来です。生駒山地と金剛山地の境目にできた「亀の瀬」という峡谷を通過して、大阪平野、最後は大阪湾に注いでいます。

大和川が教えてくれる奈良の歴史

河合町には崇神天皇の御代に建立された廣瀬大社という非常に古い神社があります。明治時代、河合町には「河合浜」と呼ばれる船着き場があり、水上交通や物資の集積地としてにぎわっていました。河合町の西側に位置する王寺町や三郷町とともに大和川の水運によって栄えました。龍田大社(三郷町)と廣瀬大社は、風水害などから流域の人々の生活を支え、静かに見守ってきた神社です。大和川をイメージした水彩画を指さしながら久保田さんはお話を続けます。大和川が運ぶ貴重な水と肥沃な土砂は、人々の命を守り田畑をうるおしてきました。廣瀬大社の五穀豊穰を願う「砂かけ祭」では、砂を水に見立てて田人や牛に扮した人が田植えのしぐさをしながら、参拝者と砂をかけあうにぎやかな祭です。



廣瀬大社の北側を流れる大和川(曾我川との合流地点)。「奈良の川は穏やかな川が多いですね」と久保田さん。



水田を守り、河川の氾濫を防ぐ水神を祀る神社として、古くから信仰されてきた河合町の「廣瀬大社」。一夜で沼地が陸地に変化し、橋が数多く芽生えたことから、この地に社殿を建てたという言い伝えがあります。現在も境内の奥には沼地が残っています。

久保田さんに教わる豆知識

豆知識①

湖だった奈良盆地

大昔の奈良盆地は「大和湖」とも呼ばれる湖でした。平城宮跡の西半分に湿地や池が多いのは、湖の水が北に流れていた名残です。この湿地は中秋のころになると南に帰るツバメのねぐらにもなります。

豆知識②

大和川と呼ばれる川になったのはいつ？

万葉集にはたくさんの川が詠まれています。大和川という名前は出てきません。大和川と呼ばれるようになるのは江戸時代の頃のようにです。大和川は、上流での豪雨の度に下流では大きな洪水が起きました。江戸時代の中頃、1704年に大規模な川の付け替え工事が行われ現在の川筋になりました。

豆知識③

「キュルキュルルルル」と鳴く河鹿蛙とは

万葉集の中に、佐保川や飛鳥川で蛙(かわず)の鳴き声を詠んだ歌があります。鹿の鳴き声のようにも聞こえるので河鹿蛙とも呼ばれてきました。今でも、吉野川やその支流では鳴き声を聞くことができます。昔は、どこにでもいた蛙ですが、大和川もそんな蛙のすむ川になるといいですね。



生き物でわかる大和川の水質

今から50年ほど前、子どもたちは大和川の中で魚を追いかけて遊んでいました。また、年配の方の中には大和川で泳いだ経験をお持ちの方も多いいと思います。井戸水を使う生活から水道を利用する生活に変わり、洗濯機の普及とともに大和川の汚れがひどくなりました。田畑で農薬を使い始めると川の生き物も激減していききました。しかし、そんな中でもわずかの生き物たちが生き続けていました。浄化

これからも大和川とともに私たちにできることは？

「今日は川に行つて遊ぼう」といえるような川になるといいですね。久保田さんが理想とする川は、川辺で夕涼みができ、ゲンジボタルが飛び交い、カジカガエルのきれいな鳴き声が聞こえる川です。そのためには、ボランティアの清掃活動や行政だけに頼るのではなく、みんなが川を汚さないための知恵を出し合いながら活動する勇気が求められていると思います。川が汚れると海も汚れます。川が海を育てるともいいます。最近、海洋汚染が話題になっていますが、海の環境が壊れると地球上では人は生活できなくなるといわれます。

センター、第二浄化センターの建設に伴って生活排水が川に入らなくなると水質は改善していききましたが、一度川を汚すとなかなか元の状態になることは難しく年月もかかります。しかし、川に入って生き物の調査を行うたびに多くの生き物が復活していることがわかってきました。最近、アユを見かけるようになってきました。「川の中の生き物によって教えられることが多いですね」と久保田さん。

す。川の役割をもう一度見直さないといいけません。「生き物たちと共に生きることができると久保田さんは語ります。そうすると、昔のようなきれいな川の姿がよみがえり、川は私たちの生活により身近な存在になることと思います。そんな社会を目指したいですね。



奈良県では、河川整備計画に基づき実施する事業の進捗状況や社会・自然環境への影響を、各流域・圏域にて5年に1回のサイクルで点検・評価を実施しています。その中で生物調査を実施しており、様々な生物を確認しています。今回は大和川流域で確認した生物の一部を紹介します。

動物(魚類・底生生物・鳥類等)

護岸整備などの河川整備が実施された場所でも、瀬や淵には、ギンブナ、オイカワ、カワムツ及びタモロコ(魚類)、イシガメ(爬虫類)、キイロサナエ、ゲンジボタル及びヘイケボタル(昆虫類)、カワニナ(貝類)、スジエビ(甲殻類)などが生息し、水面には、ヒドリガモ(鳥類)などが採餌・休息している姿がみられます。また、「絶滅のおそれのある野生生物」として指定されている、ミナミメダカ、ドジョウ、ギギ及びシマヒレヨシノボリ(魚類)、アオサナエ(昆虫類)、オオタカ(鳥類)などが生息しています。



ミナミメダカ **重要種**

かつてはごく普通に見られたが、最近は生息数が減少している。水質悪化や農業などの環境変化に弱い。流れのゆるいところを好む。(環境省：絶滅危惧II類、奈良県：希少種)

- 大きさ：大きい個体で全長約4cm
- 生活場所：水たまりや流れのゆるい小川や水路、田んぼにすむ
- 見られる時期：一年中
- 食べもの：動・植物プランクトンや小さな落下昆虫
- 産卵期：4月～10月頃



ドジョウ **重要種**

水田や用水路、湿地、あるいは河川の水際植物帯の根際など、泥底の場所を好む。(環境省：準絶滅危惧)

- 大きさ：大きい個体で全長約12cm
- 生活場所：河川、用水路、水田などの泥底の上や中に潜る
- 見られる時期：一年中
- 食べもの：雑食性で主にユスリカの幼虫など
- 産卵期：4月～6月頃



ギギ **重要種**

河川の中～下流域に生息する。夜行性。(奈良県：希少種)

- 大きさ：大きい個体で全長約30cm
- 生活場所：河川のヨシ帯や岩の割れ目に潜む
- 見られる時期：一年中
- 食べもの：水生昆虫、甲殻類、小魚など
- 産卵期：5月～8月頃



シマヒレヨシノボリ **重要種**

ヨシノボリ類の中でも止水的な環境を好む。(環境省：準絶滅危惧)

- 大きさ：大きい個体で全長約5cm
- 生活場所：ため池や河川の流れにすむ
- 見られる時期：一年中
- 食べもの：雑食性で付着藻類や、小型の水生昆虫
- 産卵期：5月～8月頃



アオサナエ **重要種**

平地や丘陵地や低山地の清流に生息する。トンボの一種。(奈良県：希少種)

- 大きさ：体長約3cm(幼虫)
- 生活場所：砂礫底の河川に生息、比較的水質のよい環境を好む
- 見られる時期：一年中(成虫は5～7月頃)
- 食べもの：肉食性で自分より小さな動物
- 産卵期：7月頃

※幼虫



オオタカ **重要種**

平地から山岳地帯にまで生息している。中小型の鳥類や小型哺乳類を捕食する里山の猛禽類である。(環境省：準絶滅危惧、奈良県：希少種)

- 大きさ：大きい個体で全長約55cm
- 生活場所：亜高山から平地の林
- 見られる時期：一年中(留鳥)
- 食べもの：小鳥～大型の鳥、ネズミやウサギなど
- 繁殖期：4月～5月頃



「重要種」とは

環境省レッドリストまたは奈良県レッドデータブックにおいて「絶滅のおそれのある野生生物」として掲載された種を示しています。



ギンブナ

河川の中～下流域に生息し、淵を好む。

- 大きさ：大きい個体で全長約25cm
- 生活場所：川の下流の淵や支流の合流点に近い水域、平地の低湿地帯や沼地など
- 見られる時期：一年中
- 食べもの：雑食性で底生動物及び藻類
- 産卵期：4月～6月頃



オイカワ

河川の中～下流域、湖などに広く分布し、流れのある瀬を好む。

- 大きさ：大きい個体で全長約15cm
- 生活場所：河川の浅く開けた場所、平瀬から淵にかけて多い
- 見られる時期：一年中
- 食べもの：雑食性で付着藻類を中心に昆虫類
- 産卵期：5月～8月頃



タモロコ

琵琶湖固有種のホンモロコが近縁種で、体の太さや、頭部のとがり具合などが異なる。

- 大きさ：大きい個体で全長約10cm
- 生活場所：河川、用水路、浅い池沼など
- 見られる時期：一年中
- 食べもの：雑食性で水生昆虫、水草、浮遊動物など
- 産卵期：4月～7月頃



ゲンジボタル

餌となるカワニナが生息する水がきれいな川に生息する。

- 大きさ：大きい個体で体長約20mm(成虫)
- 生活場所：流れが急ではなくある程度流れがある場所を好む
- 見られる時期：一年中(成虫は5～6月頃)
- 食べもの：幼虫時、カワニナ
- 産卵期：5～6月頃

※幼虫



ヘイケボタル

ゲンジボタルより小型で、より汚れた水域にも生息する。

- 大きさ：大きい個体で体長約10mm(成虫)
- 生活場所：水田、湿原といった止水域を主たる繁殖地とし、河川よりも水田などの止水環境を好む
- 見られる時期：一年中(成虫は6～7月頃)
- 食べもの：止水に生息するモノアラガイなどの貝類や水生昆虫の幼虫など
- 産卵期：5～6月頃



カワニナ

流水がある比較的広い環境に生息する。止水には生息しない。

- 大きさ：大きい個体で殻の高さ約3cm
- 生活場所：河川、細流、用水路などの砂礫底
- 見られる時期：一年中
- 食べもの：藻類、落葉、ときに水生動物の死肉
- 産卵期：5月～10月頃



カワセミ

小魚を食べる河川生態系の上位種である。水に飛び込んで魚をとるため、やや水深のあるところで狩をする。

- 大きさ：大きい個体で全長約17cm
- 生活場所：山地から平地の川、池、湖などの水辺
- 見られる時期：一年中(留鳥)
- 食べもの：魚の他、エビ、オタマジャクシなど
- 繁殖期：3月～8月頃

植物

護岸整備などの河川整備が実施された場所はコンクリート護岸が多いものの、水際はツルヨシ群落、ミゾソバ群落、ヤナギタデ群落などで覆われ、ジャヤナギなどの低木林も点在しており稚魚の避難場や小鳥の生息場となっています。また、水際から高水敷にかけては、セイタカヨシ群落、オギ群落などが生育しています。また、「絶滅のおそれのある野生生物」として指定されているゴキヅルの群落などが生育しています。



ゴキヅル **重要種**

つる性の1年草。(奈良県：希少種)

- 大きさ：長さ2mほど
- 生育場所：日当たりの良い水辺、河畔、溜池畔など
- 見られる時期：4月～11月頃
- 花の時期：8月～11月頃
- 増え方：種子



ツルヨシ

水の流れのある水際に生える。

- 大きさ：高さ1～1.5m
- 生育場所：特に砂礫河原の水の流れの弱い部分
- 見られる時期：4月～11月頃
- 花の時期：8月～10月頃
- 増え方：主に茎から根を出して地上をほうように増える



ミゾソバ

富栄養な川の水際に生える。洪水などにより見えなくなるがその後再生するサイクルを繰り返す。

- 大きさ：高さ30～80cm
- 生育場所：溝や水路、湿地、水田のあぜなど
- 見られる時期：3月～11月頃
- 花の時期：7月～10月頃
- 増え方：種子



ヤナギタデ

増水による攪乱を頻繁に受けるような水辺に近い場所に生育する。一年草であるため大きな増水後には消失することもある。

- 大きさ：草丈は40～70cm
- 生育場所：湿地、水辺、田の畦、水田など
- 見られる時期：4月～11月頃
- 花の時期：6月～10月頃
- 増え方：種子



セイタカヨシ

河川の上流から中流域の景観を特徴づける植物である。比較的安定した地下水水位の高い立地に生育する。

- 大きさ：高さ4～5m
- 生育場所：平地の水辺や湿地に生育
- 見られる時期：4月～11月頃
- 花の時期：8月～10月頃
- 増え方：種子、地下茎



オギ

河川の中流から下流域で洪水時に水に浸かる、やや高い河川敷に生育する。

- 大きさ：高さ1～2.5m
- 生育場所：泥の堆積した河原や、水辺の湿地など
- 見られる時期：4月～10月頃
- 花の時期：7月～9月頃
- 増え方：穂、根茎などが伸びて新しい茎を出す

特定外来生物

多くの外来生物が確認されています。中でも特定外来生物として、ブルーギル、オオクチバス及びカダヤシ(魚類)、ウシガエル(両生類)、アライグマ(ほ乳類)、アレチウリ、オオキンケイギク及びオオカワヂシャ(植物)などが侵入しています。



ブルーギル

北米原産。在来の魚の卵も食べることから影響が心配されている。

- 大きさ：大きい個体で全長約25cm
- 生活場所：主に河川の下流域、湖の沿岸
- 見られる時期：一年中
- 食べもの：雑食性で魚卵、仔魚、稚魚など
- 産卵期：6月～7月頃



オオクチバス(ブラックバス的一种)

北米原産。在来の魚の卵も食べることから影響が心配されている。

- 大きさ：大きい個体で全長約50cm
- 生活場所：主に河川の下流域、湖の沿岸
- 見られる時期：一年中
- 食べもの：肉食性で魚類、甲殻類など
- 産卵期：5月～7月頃



カダヤシ

北米原産。メダカと姿形は似ているが、メダカでは尻ビレが体に沿って長い、カダヤシでは体と接する部分は比較的少ない。また尾ビレの後縁が丸くなっている。在来のメダカと競合することから影響が心配されている。

- 大きさ：大きい個体で全長約5cm
- 生活場所：主に流れの緩い河川下流や灌漑用水
- 見られる時期：一年中
- 食べもの：肉食性でプランクトン、魚卵、稚魚など
- 産卵期：5月～10月頃



アレチウリ

つるを伸ばして一面に覆うように繁茂するため、在来植物への影響が大きい。

- 大きさ：つる性植物で長さ数～十数m
- 生育場所：日当たりのよい、河原の泥地や土手など開けた荒地
- 見られる時期：5月～11月頃
- 花の時期：8月～9月頃
- 増え方：種子



オオキンケイギク

北米原産。特に河川敷では河原固有の植物への影響が心配されている。

- 大きさ：草丈は30～70cm程度
- 生育場所：河原、道端、線路際、海岸など
- 見られる時期：4月～11月頃
- 花の時期：5月～7月頃
- 増え方：種子



オオカワヂシャ

在来種のカワヂシャと交雑し、遺伝的攪乱を起こすことが心配されている。なお、花は4深裂して鮮やかな青紫色であることなどで在来種のカワヂシャと区別される。

- 大きさ：草丈は1m程度
- 生育場所：日当たりのよい河川の岸辺、水田、湿地など
- 見られる時期：一年中
- 花の時期：4月～9月頃
- 増え方：種子または根茎

「地域の河川サポート事業」参加団体募集!

～河川美化活動を支援します～

地域による河川美化活動を育成し、憩いと潤いのある河川空間を創出するため、地域住民のみなさまが主体的に実施される河川美化活動(河川の清掃・草刈り・花の植栽等)を支援します。

プログラムは、3種類あります。活動にあったプログラムでご参加ください。

憩いの川づくりプログラム



- 内容** 草刈り
- 要件** 1回の参加人数10人以上
年間1回以上、延長100m以上、
刈り取り高10cm以下
- 支援内容** 面積に応じた報償金の支給
(㎡×9円)
傷害・賠償責任保険の加入
看板の設置

彩り花つつみプログラム



- 内容** 花の植栽・維持管理
- 要件** 1回の参加人数3人以上、
年間1回以上
- 支援内容** 面積に応じた報償金の支給
(㎡×320円)
※花苗の植え付け及び維持管理の場合
傷害・賠償責任保険の加入
看板の設置
花苗等の物品の支給

ボランティア支援プログラム



- 内容** 清掃
(軽微な草刈りを含む)
- 要件** 1回の参加人数5人以上
年間1回以上、延長50m以上
- 支援内容** 報償金の支給または、
傷害・賠償責任保険の加入

詳しくは右記URLよりご確認ください。

奈良県水資源政策課

TEL. 0742-27-8489

URL. <https://www.pref.nara.jp/17237.htm>



流れの強さ、深さは想像以上
傾斜やコケで滑りやすい
急に増水する 等

川には
危険な一面が
あります!

川で遊ぶときの鉄則

- 天気や川の情報を常にチェックする
- ライフジャケット等を準備する
- 看板や地元の人から川の情報を得る
- 川の様子をよく見る



付近で雨が降っていなくても こんな時は危険

- 大雨注意報、警報が発表された
- 上流の空に雨雲や積乱雲が見えた
- 水かさが増した
- 水が濁った
- 落ち葉や流木、ゴミが流れてきた
- 山鳴りがした

すぐ避難

天気予報とあわせて
確認しましょう

奈良県河川情報システム

雨量、河川水位、河川監視カメラの画像を
リアルタイムで確認できます。

